

事前評価（事業費 10 億円未満）調書

事業名	一般府道 枚方茨木線 歩道整備	
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路環境課 交通安全施設グループ（連絡先 06-6944-9283）	
事業箇所	枚方市宮之阪三丁目	
目的	本箇所は京阪宮之阪駅と精神医療センターを結ぶ経路であり、またバス路線でもあることから、通勤・通学・病院利用者など歩行者、自転車の利用も多いため、精神医療センターの建替え計画に合わせて歩道新設及び拡幅を行うことにより、歩行者等の安全と交通の利便性の向上を図ることを目的とする事業である。	
内容	○歩道整備 事業延長 L = 5 0 0 m (現況) 片側歩道 W = 2. 0 m 植樹帯 W = 1. 0 m (計画) 両側歩道 W = 3. 5 m × 2	
事業費	全体事業費：約 6. 0 億円 (内訳) 用地費 約 2. 0 億円 工事費等 約 4. 0 億円	
	【事業費の積算根拠】 近年の事業実績による	【工事費の内訳】 歩道設置等 約 4. 0 億円
事業費の変動要因	【他事業者との協議状況】 ・精神医療センターと事前協議中 ・市道中宮星ヶ丘線の付替え事業(交差点改良)と事前協議中 ・百済寺跡公園の再整備事業と事前協議中 【今後の事業費変動要因の予測】 特になし	
維持管理費	3. 0 百万円/年・k m (国土交通省 費用便益マニュアル)	
関連事業	・精神医療センター建替え事業 ・市道中宮星ヶ丘線の付替え事業(交差点改良) ・百済寺跡公園の再整備事業	
上位計画等における位置付け	○「大阪府都市基盤整備中期計画（案）改定版(H17.3)」 ○「大阪府歩道整備計画（案）H14.12」	
事業を巡る社会経済情勢等	○当該道路状況 当該事業箇所は、京阪宮之阪駅と精神医療センターを結ぶ経路であり、歩行者、自転車の利用も多く、特に朝夕は通勤・通学・病院利用者の多い箇所であるが、歩道幅員が狭く歩行者等にとって大変危険な状況である。 ○交通センサスデータ（平成17年） 自動車交通量：17,563 台/12h 自転車交通量：856 台/日 歩行者交通量：938 人/日 ○交通事故発生状況 H16～H20（5ヶ年間）：9 件 （うち死亡事故）：0 件	

地元の協力体制等	○地元市等から早期整備要望がなされている。 ○地元自治会等から歩道整備にかかる要望書が提出されている。
事業の投資効果 ＜費用便益分析＞ または ＜代替指標＞	交通安全事業における費用便益分析手法は確立できていない。
定性的分析	＜安全・安心＞ ○歩車分離を図ることにより、歩行者・自転車等の安全を確保する。 ○周辺に公共施設、医療機関、小学校があり、利用者の安全確保に寄与する。 ＜活力＞ ○誰もが安心して社会参加できる生活空間の形成（バリアフリー化の推進・歩行者交通等の利便性向上） ＜快適性＞ ○交通利便性の向上
事業段階ごとの進捗予定と効果	平成23年度：協議・設計 平成24～25年度：用地買収 平成25～27年度：用地買収、工事
完成予定年度	平成27年度
代替手法との比較検討	○歩行者等の安全を確保するためには、通行車両と歩行者等を物理的に分離できる歩道整備を行うことが最善策であり代替案はない。
自然環境等への影響とその対策	○周辺は市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に影響をあたえることはない。
その他特記事項	特になし

対応方針	・事業実施は妥当 ＜判断の理由＞ 本箇所は、京阪宮之阪駅と精神医療センターを結ぶ経路であり、自動車及び歩行者自転車の交通量が多く、特に朝夕は通勤・通学・病院利用者の多い箇所であるが、歩道幅員が狭く歩行者等にとって大変危険な状況であるため、歩道新設・拡幅整備を行うことにより、誰もが安全・安心・快適に通行できる歩行空間が確保されることから優先的に整備すべき箇所と判断した。
------	---

一般府道 枚方茨木線(歩道整備)事業概要図

